

県連・商工会等による支援の動き 3/21~3/27

3/27 岩手県内商工会・県連に震災関連相談窓口

県内商工会・商工会連合会 県内事業者を対象に災害による損害、損失や融資などの経営相談を受け付け。窓口は県内各商工会（平日9～17時）、商工会連合会は当面毎日9～17時。

3/27 栃木県南河内商工会青年部が義援金活動

南河内商工会青年部では、道の駅で募金活動を実施し、約17万円を集め、市役所を通じて寄付した。

3/27 大阪府羽曳野市商工会青年部が会議所と合同で義援金・物資を収集

羽曳野市商工会青年部と社団法人羽曳野青年会議所が平成23年3月27日に合同で義援金、支援物資、応援メッセージの募集を行った。

3/27 山形県・東根市商工会青年部が炊き出しを実施

東根市商工会青年部では、3/20、3/25、3/27 市民体育館にて炊き出しを実施した。

3/26 岐阜県・富加町商工会青年部がタオルを被災地に

富加町商工会青年部（大竹頼人部長）と青年部OBが24日までの3日間、町商工会館で近隣住民からタオルを募り、約250世帯から3500枚の提供を受けた。中小企業家同友会を通じて被災地に送る。

3/26 静岡県・沼津商工会が支援制度等の周知を強化

沼津市商工会は25日までに、東日本大震災と計画停電の対策会議を本所と戸田支所で開き、会員事業者が受けている影響の調査を始めた。観光宿泊施設で多数のキャンセルが出始めた上、製造業でも受注減少への懸念が募っているとし、同商工会は各種支援制度の周知にあたるため、説明会や個別指導を強化する方針を確認した。会員への指導では、運転資金、休業補償、雇用調整などに関し国、県、金融機関などの制度を重点的に案内する。

3/26 岩手県内商工会・県連に震災関連相談窓口

県内商工会・商工会連合会 県内事業者を対象に災害による損害、損失や融資などの経営相談を受け付け。窓口は県内各商工会（平日9～17時）、商工会連合会は当面毎日9～17時。問い合わせは商工会連合会019・622・4165

3/26 茨城県・守谷市商工会が高校運動部などと募金活動

守谷市商工会は、被災地復興へ向け、加盟する全758店・事業所が守谷高校の運動部やボーイスカウト、ボランティア団体と26～27日、4月2～3日、守谷駅前や6大型店で募金活動をする。加盟店には同月末まで募金箱を置き、義援金を募る。

3/26 新潟県・見附商工会青年部が炊き出し実施

見附商工会青年部は、市内に避難してきている方々へ炊き出し、カレーとトン汁を120食ずつ提供（3/26）するとともに、見附JCの支援物資募集活動に協力（受付・仕分）（3/20・21日実施）した。

3/26 石川県・川北町商工会青年部が支援活動

川北町商工会青年部では、商工会の協力を得て、川北町民並びに会員企業より、救援物資の提供を求め、集まった救援物資（4tトラック1台分）を、宮城県気仙沼市の受入先まで輸送した。

3/25 秋田県・北秋田市商工会女性部が被災地へ救援物資を提供

北秋田市商工会女性部は被災地への救援物資として、タオル・タオルケット・毛布・衣類等北秋田地域振興局を通じて提供した。

3/25 福島県内商工会・県連に特別と相談窓口を設置

▼県商工会連合会＝被災した事業者の特別相談窓口を設置。総合連絡窓口は県連本部（電話）024（525）34119時～午後4時

▼表郷商工会・大信商工会・ひがし商工会（白河）＝地震災害特別相談窓口を設置。金融や経営の相談、国の支援策、地元金融機関の融資の案内など。平日の午前9時～午後5時

3/25 岐阜県・養老町商工会青年部が義援金活動

養老町商工会の青年部員が義援金を拠出し、4万6,000円を岐阜新聞社に寄託した。

3/25 山形県・尾花沢市商工会青年部が支援活動

尾花沢市商工会青年部では、青年部員の事業所より物資を収集し、被災地（石巻）へ直接搬入した。また、支援物資を直接中山町へ提供した。

3/24 秋田県・潟上市商工会女性部が市内の福祉施設に布おむつを提供

潟上市商工会女性部では震災の影響で物資が不足している潟上市内の福祉施設に布おむつを350枚提供した。

3/24 宮城県・栗原南部商工会有志が宮城県南三陸町を恩返しの食料支援

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた宮城県南三陸町を救おうと、栗原市の有志が集まり「栗原おんがえし隊」（代表・渡辺一正栗原南部商工会長）を結成した。2008年の岩手・宮城内陸地震の恩返しの気持ちを込めて24日、同町の避難所へおにぎり3500個やカップ麺などの食料を運んだ。

おんがえし隊は商工会、農協、NPO法人アズマーレ、築館各種女性団体連絡協議会（各女連）、農家、市議らの有志が立場を超えて手を結んだ。

第1弾として24日は早朝に作った温かいおにぎり、市民から募った缶詰、ハム類、衣類などを車4台で運んだ。わずか2日間の募集で大量の物資が寄せられた。

おんがえし隊は第2弾として下着、靴下、石油ストーブ等を市民から募る予定だ。

3/24 富山県県連が災害支援基金を創設

東日本大震災を受け、県商工会連合会は復興支援のための「災害支援基金」（仮称）を創設する。災害対応の基金を設けるのは初めて。2010年度予算から500万円、11年度予算から100万円を拠出し、被災した東北地方の商工会などの復興に役立てる。25日に開く臨時総会で正式決定する。11年度予算で100万円を加え、必要に応じてさらに積み増す。具体的な基金の活用方法は、被災地の状況を見ながら検討していく。同連合会では、基金とは別枠で、会員企業や役員から義援金を募っている。

3/24 福島県連が特別相談窓口を設置

県商工会連合会が被災した事業者の特別相談窓口を設置。総合連絡窓口は県連本部（電話）024（525）3411

3/24 秋田県県つくだ煮組合、潟上市商工会がつくだ煮を宮城へ贈る

県つくだ煮組合（事務局・潟上市商工会、佐藤進組合長）は23日、東日本大震災の被災者に食べてもらおうと、つくだ煮約30万円相当を県に託した。宮城県内の避難所に本県が発送する支援物資のおにぎりの付け合わせに使われ、同県災害対策本部を通じて気仙沼、石巻両市と南三陸町の避難所に届けられる予定。

3/24 宮城県・角田市商工会で乗り合いタクシーの運行を再開

角田市は住宅倒壊で住めなくなった人及び福島第1原発周辺の避難者を対象に、緊急一時的に雇用促進住宅角田宿舎35戸の入居者を募集する。また、角田市商工会は24日からデマンド型乗り合いタクシーラビットくんの運行を再開する。問い合わせは同商工会（0224・62・1242）。

3/24 兵庫県・三田市商工会が宮城県松島町で支援活動

三田市商工会は、現地の「温かい食べ物がほしい」との要望を受け、宮城県松島町で炊き出し等を実施した。炊き出しメニューは約五百人分の「三田牛コロッケ」と「豚汁」を避難所の方々に振る舞い、避難所の方々からは感謝の声があふれ、一時の笑顔に包まれた。松島町の海岸部は津波により床上浸水し、観光産業は大打撃を受けていたため、炊き出し後に沿岸部へ行き、商店内に流入した泥をかきだす作業と流された備品などの撤去作業を行った。また、三田市商工会館を援助物資の受付・仕分けの場所として提供した。

3/24 山形県・出羽商工会の有志が宮城県東松島市で炊き出し

出羽商工会では、商工会会員、青年部員、職員の有志20名が、宮城県東松島市にシルク焼きそば1000食の炊き出しを実施した。

3/24 山形県・庄内町商工会による支援活動

・3/24 南三陸町に対し、青年部、商工会理事、会員による第2回の炊き出し支援を実施し

た。

- ・ 3/18 商工会会長、青年部 5 名、女性部 5 名、職員 3 名、町長、観光協会とともに、南三陸町に炊き出し支援を実施。また、会員や理事、各団体等に呼びかけ、支援物資を集め、町とともに南三陸町へ搬送した。
- ・ 3/16 建設企業組合会員にブルーシートの提供依頼を行った。

3/24 秋田県商工会連合会・商工会が県の独自資金制度に協力し、中小企業を支援

秋田県商工会連合会・県下商工会では、秋田県独自の「東北地方太平洋沖地震復旧支援資金（中小企業災害復旧資金特別枠）」に必要な被害確認作業を行い、3月24日～5月20日までに、商工会分として912件、124億2940万円の資金が承諾された。

同資金は、物的な被害のみならず、インフラや流通網の混乱等により経営に支障をきたしている県内中小企業者を対象とし、災害復旧資金よりも金利・保障料負担が軽減されるもの。原則として、商工会又は商工会議所の確認があれば、罹災証明書が不要であるという特徴がある。

3/23 秋田・かづの商工会で復旧支援資金説明会が開催

東北地方太平洋沖地震復旧支援資金説明会が25日午前10時半からかづの商工会で開催される。個別相談も行う。

3/23 福島県あいづ（河東）商工会が支援活動

あいづ商工会では、独自に、会員から物品を募り、3月18日と23日に、行政と協力し避難所へ配付した。

3/23 栃木県・上三川町商工会が支援活動

上三川町商工会では、福島県船曳商工会へ使い捨てマスク8万枚（約50万円相当）を送付した。

3/23 愛媛県・上島町商工会が支援活動

上島町商工会では、ティッシュペーパーBOX15個、乾電池20個、マスク100枚の支援物資を町役場経由で被災地へ寄贈した。

3/23 山形・県村山市商工会青年部が支援活動

村山市商工会青年部は、3/23 に夕食の炊き出しを実施した。また、3/27 には、避難者に対する映画等の上映会を実施する。

3/23 山形県・上山市商工会青年部・女性部による被災者救援活動（救助活動・炊き出し等）

山形県上山市商工会女性部・青年部は、上山市体育文化センターに避難されている方に対して、3/20・3/23 のお昼に炊き出しを行った。また、義援金 50 万円を名取市商工会へ持参した。

3/22 福島県・松川町商工会青年部が支援活動

青年部が 3 月 22 日に、避難所へ靴下 300 足の物資支援を行う。

3/22 秋田県・大館北秋商工会女性部が被災地へ救援物資を提供

大館北秋商工会女性部では、部員に働きかけタオル、衣類等の支援物資、段ボール 2 3 箱分を集め地域振興局を通じて被災地へ送った

3/22 宮城県多賀城・七ヶ浜商工会が復興市を開催

22 日午前 10 時から JR 仙石線多賀城駅前の旧長崎屋跡地で、仙台農協多賀城支店や多賀城・七ヶ浜商工会の会員店舗が出店し、コメや下着、トイレトペーパーなどを販売する「多賀城復興市」が開かれる。商品がなくなり次第終了する。

3/22 福島県・北会津商工会が支援活動

北会津商工会では、独自に、会員から物品を募り、3 月 18 日と 22 日に行政と協力し避難所へ配付。

3/22 福岡県商工会青年部連合会

福岡県商工会青年部連合会では、3 月 13 日に支援物資を集め、15 トントラックいっぱい水、オムツ、食料を積んで 17 日に地元を出発し、東京を経由して被災地に支援物資を送

った。その後、22日には、岩手県青年部連合会へ全国青年部連合会役員と協力し、物資を送った。物資の一部として、福岡から水や米などを送った。【本会調べ】

3/21 埼玉県・寄居町商工会が義援金を募集

寄居町商工会は、地震の被災地への義援金「日本を救え！東北地方太平洋沖地震・救済義援金」の募集を始めた。

3/21 佐賀県・吉野ヶ里町商工会青年部が義援金活動

吉野ヶ里町では、商工会青年部や小学校のPTAのメンバーら約100人が、地元の商業施設3カ所で震災復興に向けた資金を募った。

3/21 秋田県・潟上市商工会婦女性部が手縫いの布おむつ、タオル等を寄贈

潟上市連合婦人会（小玉喜久子会長）など市内の女性3団体は、東日本大震災の影響で物資が不足している市内の福祉施設に布おむつを贈る。

市は連合婦人会のほか市赤十字奉仕団（小玉会長）、潟上市商工会婦人部（岡田曙部長）に協力を依頼し、3団体とも了承。会員延べ1500人が一人1枚以上を目標に、使い古したタオルからおむつを手縫いする。24日までに市を通じて各施設に届ける予定。

3/21 岩手県内商工会・県連に震災関連相談窓口

県内商工会・商工会連合会 県内事業者を対象に災害による損害、損失や融資などの経営相談を受け付け。相談窓口は県内各商工会（平日午前9時～午後5時）、商工会連合会は当面毎日午前9時～午後5時。問い合わせは商工会連合会（019・622・4165）。

3/21 愛媛県・内子町商工会が岩手県遠野市に物資寄贈

内子町商工会では、岩手県遠野市に、商店会で調達した当面必要と思われる、水、保存食など各種物資を被災地へ寄贈した。

3/21 栃木県・桑絹商工会青年部が支援活動

桑絹商工会青年部では、3/19～21 県立県南体育館にて、救援物資の提供と仕分け作業を実施した。

3/21 山形県・高畠町商工会青年部が炊き出しを実施

山形県高畠町商工会青年部（3/16・17・21）による炊き出し等が実施された。